



すい臓ぞうはどんなはたらきをするの

おなかのいちばん深いところにあるすい臓ぞう

すい臓ぞうは胃いのうら側がわにあり、おなかのいちばん深いところふかにあります。長さなが10～15センチメートル、重さおも約70グラムでへじの字がちの形かたちをしています。

すい臓ぞうのはたらきは二つ

すい臓ぞうのはたらきの一つは、すい液えきを出だして食物しょくもつを消化しょうかすることです。食事しょくじをすると、すい臓ぞうからすい液えきが十二指腸じゅうにしちょうに送おくられます。

すい液えきは、食物しょくもつ中のタンパク質たんぱくしつ、脂肪しぼう、糖質とうしつのすべてを分解ぶんかいし、腸ちようからの吸収きゆうしゆうのはたらきをよくします。すい臓ぞうは、消化しょうかにとって最ももっと大事な臓器だいじ ぞうきです。

もう一つのはたらきは、ホルモンだを出だして、血液けつえき中の糖分ちゆうぶんを調節ちようせつする役目やくめをします。糖質とうが分解ぶんかいされて、血液けつえき中の糖分なか とうぶんがふえると、すい臓ぞうはインスリンなどのホルモンだを出だして、血糖値けつとうちを正しく保ただつはたらきをするのです。

糖尿病とうようびょうは、このインスリンが少すくなくなったり、はたらきが悪わるくなったりするときにおこる病気びょうきです。（監修 保志 宏）

